

70th

Business Report

株式会社クレディセゾン 営業の中間ご報告

2019年4月1日～2019年9月30日〈第70期〉



Japan
CREDIT SAISON

China

Taiwan

Philippines

Bangladesh

Myanmar

Thailand

Cambodia

Vietnam

Malaysia

Singapore

Indonesia

India

Neo Finance Company in Asia

Neo Finance Company in Asia

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第70期中間期(2019年4月1日～2019年9月30日)決算につきまして、ご報告申し上げます。

当社は、「Neo Finance Company in Asia」を中期経営ビジョンとして掲げ、『お客様と50年間に共に歩むファイナンスカンパニーへ～お金に関する「安心」と「なるほど」を～』をミッションステートメントとする2022年3月期(第72期)までの中期経営計画を策定し、中期経営計画を実現するためにサービス寿命の長いクレジットカードをタッチポイントに、お客様の生活上のマネーイベントに関わる最適なサービスを提供していくファイナンスカンパニーへの転換に挑戦しております。

2018年10月、長年の経営課題であった共同基幹システムへの移行が完了し、今後の事業成長に向けて攻めの態勢が整ったことを踏まえ、2019年6月、クラウド会計ソフトfreee(フリー)を導入する個人事業主・中小企業経営者を対象とし、企業の財務データや取引データを活用した与信モデルによる「freeeセゾンプラチナ・ビジネス・アメリカン・エクスプレス®・カード」の発行開始に向けてfreee(株)と提携いたしました。また、2019年9月には、(株)大和証券グループ本社と当社は、両社が創業以来培ってきた金融ビジネスに関するノウハウと顧客ネットワークを相互に活用し、多様化するマーケットニーズに対して「次世代の総合金融サービス」を開発・提供し、「金融の未来」を創造することを目的に資本業務提携を行うことに合意いたしました。さらに、カードビジネスに依存しない収益力の多角化に向けて、リース・信用保証・フラット35(買取型)・資産形成ローンに加えて、2019年6月より住宅金融支援機構の長期住宅ローン証券化事業(保証型)の商品「セゾンのプラチナフラット」の取り扱いを開始するなど新たなアライアンスやサービス、コンテンツの開発に積極的に取り組んでまいりました。

これらの結果、当中間期における業績は、純収益1,592億85百万円(前年同期比5.3%増)、事業利益312億63百万円(同15.4%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益186億37百万円(同0.1%減)となりました。

同質化競争をすれば飽和状態になり、真面目さだけでは横並びの発想しか浮かびません。イノベーションには「どのようにやるか」という方法論よりも「なぜ、やるか」という内的な動機や目的が重要です。そのためにも「オープン・フランク・イノベティブ」という当社の企業文化を象徴するステートメントにあるように、この予測不能で不確実な時代に自ら『解』を導き出せる柔軟で力強い組織を創ってまいります。

また、1980年代から取り組んできたESG経営を実践し、より豊かで便利な社会の発展に寄与することで、持続的な企業価値の向上と社会への貢献を果たしてまいります。

株主の皆様におかれましては、セゾンカードとUCカードのご利用とともに、一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2019年12月
代表取締役社長COO

山下 昌忠

Payment

決済ビジネス

決済ビジネスにおける成長戦略と構造改革への取り組み

クレジットカードに加え、プリペイドカードやスマートフォン決済など、決済サービスの多様化に対応し、現金市場を打ち崩す施策を展開しております。クレジットカードサービス事業において、カード会員数は2,662万人（前期末比0.6%減）、ショッピングの取扱高は2兆4,480億円（前年同期比4.5%増）となりました。2019年4月よりセゾンカード・UCカードのスマートフォンアプリ「セゾンPortal」

「UC Portal」をご利用のカード会員様を対象に、一律のサービスから利用実績等に応じたクラスで特典を提供する「セゾンクラス」、2019年9月より毎月1万人に現金1万円が当たる「セゾンのお月玉」を開始し、カード利用におけるサービス向上に取り組みました。また、2019年10月から経済産業省が施行する中小・小規模事業者「キャッシュレス・消費者還元事業」に参画し、キャッシュレス決済

Global

アジアビジネス

アジアにおけるリテール金融ビジネスの推進を加速

成長著しいアジア国内において、その国の経済発展、国民の利益に寄与することを目指して、多様なファイナンス事業戦略を展開しております。ベトナムの「HD SAISON Finance Company Ltd.」では、二輪車や家電などの個品割賦事業を中心に展開しており、クレジットカード事業の新規立ち上げに向けた準備を進めております。インドネシアの「PT.Saison Modern Finance」では、デジタルレンディング事業を展開し、インドネシア唯一のマルチeファイナンス会社として早期の収益化を目指しております。また、東南アジアで展開する「Grab Financial Services Asia Inc.」では、スマートフォンを活用したデジタルレンディング事業を開始し、タイの「SIAM SAISON Co., Ltd.」においても、タイ国内の建設業界における資材の受発注や支払いについて、分割払いなどの幅広いBtoB金融サービスの提供を開始しております。インドの現地法人「Kisetsu Saison Finance (India) Private Limited」は、2019年10月にインド準備銀行より事業ライセンスを取得いたし

ました。「テクノロジーの活用とビジネスモデルの革新によるファイナンシャルインクルージョンの実現」という経営ビジョンのもと、デジタルレンディング事業へ参入し、インドの経済成長の一翼を担ってまいります。また、2019年6月シンガポールにアーリーステージの海外スタートアップを中心に投融資を行う「Saison Capital Pte. Ltd.」を設立、投資事業を開始いたしました。アジア圏のみならずアフリカ・南米等、世界の有望なスタートアップに対する投融資を迅速な意思決定のもと強化・推進し、既進出国事業との連携や革新的事業モデルの早期取り込みを実現させてまいります。



Solution

ソリューションビジネス

企業規模・ニーズに応じた最適なソリューションを提供

これまで培ってきたカードビジネスのノウハウや約3,700万人の顧客基盤、多種多様なパートナーなどのリソースを強みに、法人マーケットのキャッシュレス化とバックオフィス業務の効率化を推進しております。クラウド会計ソフトfreee（フリー）を導入する個人事業主・中小企業経営者を対象とし、企業の財務データや取引データを

活用した与信モデルによる「freeeセゾンプラチナ・ビジネス・アメリカン・エクスプレス®・カード」の発行開始に向けてfreee（株）と提携いたしました。また、「セゾンプラチナ・ビジネス・アメリカン・エクスプレス®・カード」の拡販、仕入代金の立替払いを行う「支払代行サービス」の提供など、中小企業マーケットの取り込みに向けて積極的な営業

の普及に向けた取り組みを推進しております。さらに、2019年9月に発表いたしました（株）大和証券グループ本社との資本業務提携を通し、クレジットカード事業、証券事業を核とする金融ビジネスのノウハウと顧客ネットワークを活用・融合した「次世代の総合金融サービス」の開発・提供を行ってまいります。



Investment

資産運用ビジネス

ポイント運用サービスを通して投資初心者との接点が拡大

永久不減ポイントを使った「ポイント運用サービス」では、「アクティブ」「バランス」「日本株（TOPIX）」「アメリカ株（VOO）」の4つのコースに加え、「つみたて機能」による長期投資体験、ロボットアドバイザーによる投資計画シミュレーションへの連携、実在する企業の株価と連動する「株式

コース」など、サービスの拡充とサイトの利便性向上を継続的に実施しております。2019年9月末時点でご利用者は約50万人となり、投資初心者との接点を拡大しております。投資活動に興味を持つお客様が、楽しみながら投資活動のステージを進んでいただけるよう、当社リソースを活用

して、投資ビジネスのさらなる展開を進めてまいります。



Finance

ファイナンスビジネス

マーケットニーズに即したファイナンス機能の提供

カードビジネスで培った営業力・全国ネットワークを活かし、マーケットニーズに即したファイナンス機能の提供と、提携先企業とのリレーション強化により、収益源の多角化と環境変化に強いノンバンクとしての事業基盤の構築に取り組んでおります。**リース&レンタル** 事業者の設備投資計画に合わせ、OA通信機器や厨房機器などを中心に営業を推進しております。既存主力販売店との共同キャンペーン実施等による信頼関係強化や、新規重点販売店への営業強化に取り組んだ結果、債権残高は3,228億円（前期末比4.6%増）となりました。**信用保証** 個人向け証書貸付型フリーローンの保証業務を中心に、提携金融機関との営業・管理両面にわたる密接な連携により、良質な案件の獲得に注力しております。資金使途を事業性資金にも広げたフリーローン保証商品を通じて、地域金融機関等とのきめ細かな連携体制の構築に努めた結果、提携先数は合計で403先（前年同期差2先減）、保証残高は3,471億円（前期末比0.1%増）となりました。

ファイナンス 「フラット35」は、カード会員向け優待やクレジットカード事業で培ったセゾンプラチナが持つ信頼感・安心感等を背景に「フラット35PLUS」、「フラット35つなぎローン」、「セゾンのホームアシストローン」（住宅購入時の諸費用ローン）、2019年6月に新たに取り扱いを開始した、フラット35（保証型）を用いた「セゾンのプラチナフラット」を含め、「セゾンの住宅ローンパッケージ」として住宅購入時のサポートを推進した結果、住宅金融支援機構への債権譲渡済み残高は8,623億円（前期末比12.8%増）となりました。また、「セゾンの資産形成ローン」は、提携先との連携による良質債権の積み上げに注力し、貸出残高は5,521億円（前期末比9.1%増）となりました。



Digital Marketing

デジタルマーケティング

デジタルデバイス・顧客データを駆使したビジネス創造

ネット会員やスマートフォン向けアプリ会員のさらなる拡大とともに、当社が保有するビッグデータ・顧客基盤と外部企業のリソースを組み合わせた新たなビジネスモデルを推進しております。また、「優良コンテンツ」と「利便性の高い決済機能」をデジタル技術で効果的・効率的に提供することで

カード会員様のQuality Of Life向上の実現に努めております。その一環として、シニア向けに脳健康診断テスト事業を行う（株）脳活性総合研究所へ出資することで健康プラットフォームを強化いたしました。

Topic 2019.4-9

- カード会員向け、利用実績に応じたクラス優待サービス「セゾンクラス」開始
- 脳活性総合研究所へ出資、9月「脳活性度定期検査（脳研）」をリリース
- 「大和証券グループ」との資本業務提携を締結
- セゾンカード・UCカードのご利用500円ごとに毎月1万人に現金1万円が当たる「セゾンのお月玉」サービス開始

ESG クレディセゾンだからできる持続可能な社会づくり

「サービス先端企業」という経営理念のもと、当社独自のノウハウ、経営資源、そして社員一人ひとりの経験を活かし、クレディセゾンだからこそできる社会の発展・課題解決に日々の事業を通じて貢献することで、今よりもっと便利で豊かな持続可能な社会をつくることを目指しております。安心・安全・便利なキャッシュレス社会の実現に向けた取り組みをはじめ、永久不減ポイントやクレジットカード決済を通じた自然災害で被害にあわ

れた方々への支援を行っております。また、赤城自然園運営による環境保全活動、スポーツ・文化活動のサポート、さらに各地域との教育事業プログラムへの参画を通じ、次世代を担う子どもたちの成長や金融知識の拡充を支援し、激変する金融社会の持続的発展に貢献しております。2019年6月には取締役会の任意の諮問機関として指名・報酬委員会を設置するなど、コーポレートガバナンスの強化にも取り組んでおります。

Diversity & Inclusion 社員一人ひとりが能力を発揮できる組織づくり

全員が持てる力を最大限発揮できる、活気に溢れた働き甲斐のある組織を目指して、ダイバーシティ&インクルージョンの推進に取り組んでおります。社員の能力や可能性をさらに引き出すことを目指して、1on1ミーティングや人材育成会議などキャリア開発支援体制の構築や、自ら選んで受講する選択型研修を導入いたしました。また、社員の成長と挑戦を促すことを目的に社員のアイデアをスピーディに事業化するためのベンチャープログラム

「SWITCH SAISON」や、一体感の醸成とエンゲージメント向上を目的に、社員間で感謝の気持ちを送り合うピアボナス制度「永久不減チップ」の活用を推進しています。



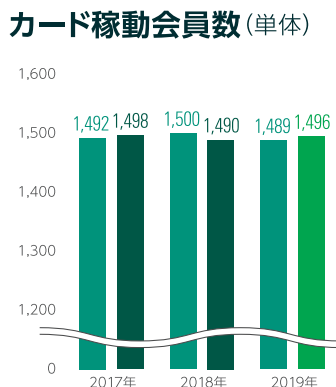
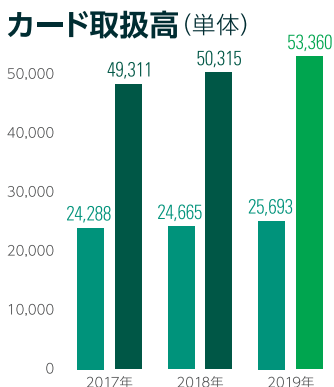
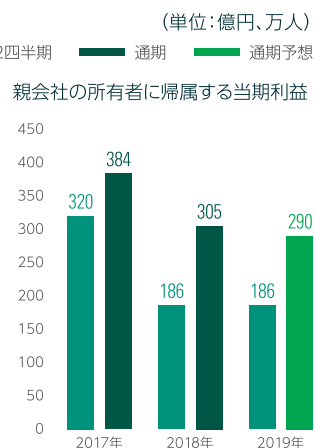
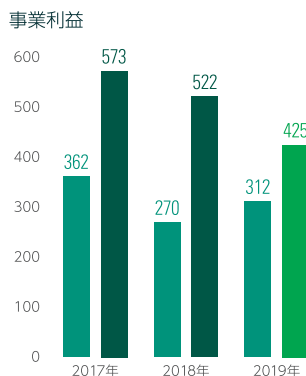
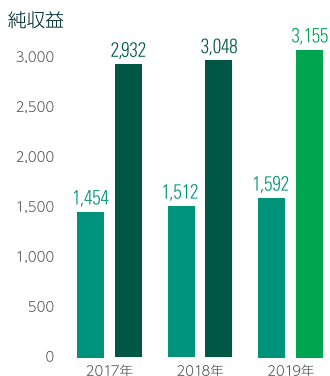
■ 中期経営ビジョン

「Neo Finance Company in Asia」を中期経営ビジョンとして掲げ、『お客様と50年間を共に歩むファイナンスカンパニーへ～お金に関する「安心」と「なるほど」を～』をミッションステートメントとする2022年3月期までの中期経営計画を策定いたしました。

「Neo Finance Company in Asia」の実現に向け、クレジットカードやプリペイドカードなどの決済サービスを中心に、お客様の生活上のあらゆるマネーイベントに関わる最適なサービスを提供していくファイナンスカンパニーへの転換に挑戦することで、2022年3月期には連結事業利益600億円を目指してまいります。

■ FINANCIAL DATA

経営成績



(注) 1. 当社は、2018年度より従来の「日本基準」に替えて「国際財務報告基準 (IFRS)」を適用しております。上掲のグラフ中、2017年第2四半期は日本基準に、2017年通期以降はIFRSに基づいて表示しています。
2. 日本基準の「営業収益」は「純収益」、「経常利益」は「事業利益」、「親会社株主に帰属する当期純利益」は「親会社の所有者に帰属する当期利益」となります。

Supporting Company

いつまでも挑戦する想いを、 わたしたちは支え続けています。

わたしたちはサッカー日本代表とともに成長し続けていきたいという想いから、2001年よりサポーターカンパニーとして、サッカー日本代表を応援しています。また、2014年からはアジアサッカー連盟 (AFC) とのスポンサーシップ契約により、近年のアジア地域において絶大な人気を誇るアジアサッカー界も支援しております。日の丸を胸に、今日もサッカー日本代表が世界の舞台でチャレンジ続けるように。わたしたちもサービス先端企業として、さまざまなチャレンジを続けてまいります。



クレディセゾンは
サッカー日本代表のサポーターカンパニーです。

2018年10月16日対ウルグアイ戦 先発メンバー ©JFA

CORPORATE DATA

会社概要

(2019年9月30日現在)

商号 株式会社クレディセゾン Credit Saison Co., Ltd.
 設立 1951年5月1日
 資本金 759億2,936万円
 従業員数 3,107名 他に嘱託、パート・アルバイトの期中平均雇用人員は601名(1日7.5時間換算)
 本社 〒170-6073 東京都豊島区東池袋三丁目1番1号 サンシャイン60・52F
 主要な事業内容 ①クレジットサービス事業(クレジットカード事業およびサービサー(債権回収)事業等)
 ②リース事業(リース事業)
 ③ファイナンス事業(信用保証事業およびファイナンス関連事業)
 ④不動産関連事業(不動産事業および不動産賃貸事業等)
 ⑤エンタテインメント事業(アミューズメント事業等)

役員

代表取締役会長CEO 林野 宏	取締役 馬場 信吾	取締役 大槻 奈那(社外)
代表取締役社長COO 山下 昌宏	取締役 磯部 泰之	常勤監査役 金子 美壽
代表取締役副社長 高橋 直樹	取締役 足利 駿二	常勤監査役 原田 宗宏(社外)
常務取締役 水野 克己	取締役 小野 和俊	常勤監査役 井川 裕昌(社外)
常務取締役 岡本 龍成	取締役 安森 一恵	監査役 笠原 智恵(社外)
常務取締役 三浦 義昭	取締役 林 郁(社外)	
取締役 松田 昭博	取締役 富樫 直記(社外)	

株式の状況

(2019年9月30日現在)

発行可能株式総数:300,000,000株 発行済株式の総数:185,444,772株 株主数:15,403名

大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	24,849	15.66
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	10,258	6.46
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	7,355	4.63
BNYMSANV AS AGENT/CLIENTS LUX UCITS NON TREATY 1	6,534	4.12
資産管理サービス信託銀行(株)(証券投資信託口)	4,491	2.83
(株)みずほ銀行	3,000	1.89
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口5)	2,770	1.75
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST, BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS - UNITED KINGDOM	2,739	1.73
JP MORGAN CHASE BANK 385151	2,589	1.63
野村信託銀行(株)(投信口)	2,458	1.55

※1. 当社は、自己株式を26,717,264株保有していますが、上記大株主からは除外しております。

※2. 持株比率は、自己株式を控除して算出しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月開催
 基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人事務取扱所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) ☎0120-782-031 (9:00~17:00 土・日・祝日を除く)
 (インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
 公告の方法 電子公告(当社のホームページに掲載) <https://corporate.saisoncard.co.jp/>
 上場証券取引所 東京証券取引所
 証券コード 8253

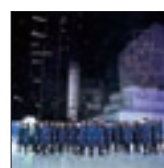
【株式に関する住所変更などのお届出およびご照会について】証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更などのお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。
 【特別口座について】株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様は、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会は、上記の電話照会先をお願いいたします。



東京・東池袋 サンシャイン60の52階に本社を置く株式会社クレディセゾンおよび関係会社全社員の中から選ばれた、53名の女性メンバーによって結成された「東池袋52」。シングル6枚をリリースし、活動中!

Single 4曲収録

All Seasons Best「人生楽しい人の勝ち」



永久不滅ポイント

200pointで交換できます。

- ▶ 1st わたしセゾン
- ▶ 2nd なつセゾン
- ▶ 3rd あきセゾン
- ▶ 4th 雪セゾン

※5th Single「愛セゾン」、最新6th Single「幸せのセゾン」は公式サイトにて公開中。

CREDIT SAISON

